

P19

誰もが幸せを感じられる観光地域づくりによる「心の豊かさ」と「持続可能な地域社会」の実現

<考え方>

新しい生活様式が定着し、観光スタイルがますます多様化・複雑化していることに加え、旅行者の意識が変容し、持続可能な観光、SDGsへの関心は高まり、旅行先の選択の重要な要素となりつつある中、日々の暮らしや自然環境に配慮しながら、本県の強みを活かした観光地域づくりを進めていく。

P22

目標

指標名	基準値（2020）	目標値（2025）
県内旅行消費額	4,336億円	8,000億円
本県旅行に対する総合満足度	93.5%	95.0%
地域への誇り、愛着を持つ県民の割合	86.6%	90.0%
観光客に来てほしいと考える県民の割合	44.7%	50.0%
旅行者のリピート率	71.3%	75.0%
観光交流客数	8,348万人	1億7,000万人
宿泊客数	1,083万人泊	2,200万人泊
外国人宿泊客数	27万人泊	300万人泊

<基本方針1> しずおかの魅力で幸せと感動を呼ぶ観光サービスの創出

（1）多彩な観光資源を活用した

「しずおかサステナブルツーリズム」の推進 P27

- ・ガストロノミー（食文化）ツーリズム、アドベンチャーツーリズム、ジオツーリズム等のテーマ性を持ったツーリズムの推進
- ・ワーケーション、ICOIプロジェクト、マイクロツーリズムの推進など新たな需要獲得
- ・観光によるフジノミクスの推進
- ・本県の魅力を活用した観光商品企画造成支援
- ・駿河湾フェリーを活用した誘客促進



【短期的な取組】 P32

- ・観光産業の回復に向けた誘客支援



（2）静岡県の魅力の効果的な情報・ストーリー発信

- ・デジタルマーケティングの推進 P33
- ・戦略的なメディアクロス

（3）戦略的なインバウンド施策の推進 P34

- ・TSJとの連携によるマーケティング戦略の推進



<基本方針2> 将来にわたる経済発展に向けた来訪者の受入体制の強化

（1）将来にわたり安全・安心で快適な観光地域の形成 P35

- ・食のSDGsの取組や観光モデル事業の実施など、SDGsの達成に貢献できる観光地域の形成
- ・周囲の景観と調和した施設整備



【短期的な取組】 P37

- ・安心・安全認証制度の推進



（2）関係者との連携による観光サービス産業の振興 P38

- ・DMO会議などによるDMOとの連携強化
- ・立寄施設数を増やすことなどによる域内消費の促進
- ・スポーツの聖地づくりや文化資源の活用など、地域内の多様な事業者や団体等との連携の促進



（3）地域を支える観光人材の育成 P40

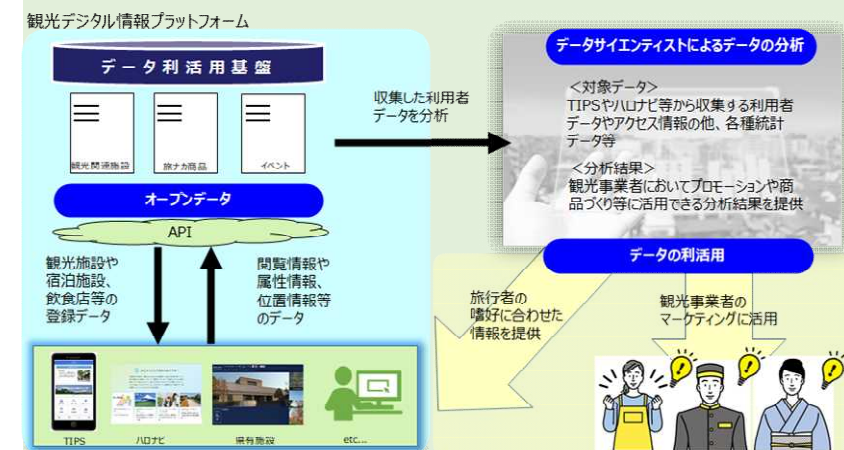
- ・学童期からの地域教育、来訪者へのおもてなし研修、大学等との連携による中核人材育成など、観光地域づくりを担う人材の育成
- ・事業者支援などによる観光人材の確保



<基本方針3> 訪れる人と迎える地域の満足度を高める観光DXの促進

（1）観光デジタル情報プラットフォームの利活用 P43

- ・来訪者データ等の収集・分析・活用
- ・来訪者の嗜好に合わせた情報とサービスの提供
- ・デジタルマーケティングに基づく新たなサービスの創出の促進



（2）デジタル技術の活用による利便性と生産性の向上 P45

- ・デジタルサイネージなどデジタル技術による基盤整備
- ・デジタル技術を活用した誘客促進

